

No. 2634

大峰・釈迦ヶ岳

日時： 10月28日(日) 晴れ

参加： 尾崎(L)、岡本、榊谷、佐々木(記)

日本200名山の一つ釈迦ヶ岳は、ユネスコ世界遺産の大峯奥駈道ルートの一つにもなっている山です。私は尾崎さんの車と、各自の車で、大塔の道の駅に集合。

二台の車で、林道終点の釈迦ヶ岳下の駐車場着(9:40)。綺麗なトイレのある20台程の駐車場は満杯で、すぐ下の広い路上に駐車。途中の旭ダム周辺のもみぢは色付き始め、山並みは紅葉が進み目を楽しませてくれる。

歩き始め(9:55)、旧道からの分岐(10:30)、360°の見晴らしの良い所で(1585m、10:50)一服、行程としては半分チョイ。晴天に恵まれ、正面に目指す釈迦ヶ岳、右にトンガリ山の大日岳、左の弥山方向には仏生岳、七面山、八経ヶ岳の山並みを見る事が出来る。

平坦な千丈平のキャンプ場や水場を過ぎると急登となり、いよいよ山頂まじかである。釈迦ヶ岳山頂(1800m)では、釈迦如来像が迎えてくれる(11:50)。さほど広くない山頂には、たくさんのハイカーがそれぞれ過ごしていた。

気持ちの良い風が少し肌寒く感じられる為、少し下で昼食。最高の天気と、全展望の眺望を楽しむ。

尾崎さんからの受け売りですが、山頂で象徴的に立つ釈迦如来像は、大正13年に「鬼マサ」こと岡田雅行(1886年~1970年、身長188cm、体重約120kg)という強力が、一人で道を作りながら、3分割して担ぎ上げたと伝えられています(現在の像は、二代目、三代目?)。さらに大きく高かった初代、苦勞が思いやられる!

ゆっくり昼食後、下山(12:55)。千丈平(13:10)、「古田の森」をピークハントして旧道分岐(14:00)、駐車場着(14:30)。

林道はクネクネと細く少し荒れた所もあるが、問題無い。山全体に紅葉は中程度であったが、光に映えて赤・黄・緑のコントラストが綺麗。

山すそはススキ、中間帯は杉やブナと自然林、頂上に掛けては足元程度のササ原が続く、綺麗な秋の山を(オッサン4人でありましたが(^-)-☆)、楽しんできました。

大塔の道の駅に着(15:35)、解散。尾崎リーダー、ありがとうございました。

